

【障がい者団体へのヒアリング調査結果】

調査期間	令和2年6月～7月
調査対象	北上市手をつなぐ育成会 代表者4名 北上地区精神障害者家族会 代表者2名 NPO法人いわて高次脳機能障害友の会 代表者1名
調査方法	質問内容を事前送付、その後、必要に応じ電話にてヒアリング調査を実施し内容を補った。

	設問	回答・ヒアリング結果(抜粋)
Q1	貴団体に所属している会員の方々の中で、成年後見制度が十分に周知されていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・頭の片隅には制度のことがあると思うが、差し迫って必要性を感じていない親が多いと思う。今すぐ必要となる課題ではないのでイメージがつきにくい。 ・結局のところ「親が死んでからの制度かな」と思っている人が多いと思う。会員の中にも高齢の親がいるので、その方には相談できる受け皿が必要と思う。 ・制度の説明はよく聞くが、決定までの、道のりがわからない。
Q2	行政等が成年後見制度をより多くの当事者(家族)に周知していく際に、必要とされること(こんなことに気を付けて欲しい等)を教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に制度を使っている本人から事例紹介をしてもらえた良いなと思う。メリットもそうだがデメリットもあると思うので、実際に使ってみてどうなのか率直なところをききたい。 ・「後見を付けてよかったこと」「ダメだったこと」「つけた結果、こうなった」などの例を教えてください。必要なのはわかるが、イメージができない。後見人をつけると面倒になるというマイナスのイメージが多い。 ・障がいがあっても、自分の思いがある。思いはあるがうまくできないことが多いので、自己主張に対してうまく関わって欲しい。
Q3	当事者ご本人の金銭管理について、課題やご意見を教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・親が管理していると思うので、困ったときに相談できる窓口が欲しい、いまの市役所には無いと思う。 ・後見を利用すると、収支報告書を出す必要があり家族内で収支管理がシビアになるので、好まない家族も多い。収支管理がどこまで必要なのかはやり方次第だとも思うが。 ・家族、兄弟の中で成年後見制度について話し合う機会がもっとあれば良いと思う(使わなくても)。

	設問	回答・ヒアリング結果(抜粋)
Q4	当事者ご本人の権利擁護(自己決定の支援)について、課題(相談先の不足等)やご意見を教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の意思決定支援について、発達障がいの方の気持ちを汲み取ることは親でも大変。いきなり弁護士や司法書士が後見人になっても、本人の意思決定支援ができるのか不安。 ・障がいがあって「将来のこと」を自分で話せない、意思決定支援が必要だけでも、後見人にそれができるのか不安。 ・権利擁護、成年後見制度についてもだけでも、普段の相談(簡単に相談に行ける所)ができるところが欲しい。ゆるやかに相談できる所が欲しい。 ・「生活費」という考えが無いと思うので、そういった基礎的な部分から助言が欲しい。
Q5	将来的に成年後見制度の利用を検討していますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・メリット・デメリットがまだわからない。 ・これから考えていきたい。
Q6	成年後見制度を利用する上での課題等についてご意見を聞かせてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・無報酬というわけにもいかないのだが、報酬の支払いに抵抗があると思う。 ・親族後見であっても、普段から家計簿もつけてないのに一年間の収支報告書を作るとなると煩雑。 ・親族関係図の作成等、事務が煩雑なので一緒に手伝ってもらえる相談場所が無いと、家族だけでは申立てが大変。かといって司法書士に頼むと費用がかかる。 ・実際に使っている方の事例を紹介して欲しい、事例の積み重ねかなと思う。 ・自分の家庭では喫緊の課題とは思っていないが、どの家庭もいつかは必要になるかもしれないとは思っているだろう。もしそうなった時に、相談できる様な窓口をお願いしたい。

	設問	回答・ヒアリング結果(抜粋)
Q7	<p>成年後見制度を利用しやすいものにするために必要なことはどのようなことだと思いますか。ご意見を聞かせてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の親は本人が成人してもずっと自分が親であって代理人だと思っている方も多いのではないかと思う。ある程度判断できる障がい者であれば、成人したら自分の判断で生活していくことも重要と考えるが、そういった認識も親の中で考えている方は少ないと思うので、制度周知と合わせて考え方も広めて欲しい。 ・ゆるやかに相談できる場所が欲しい。そもそも自分達は制度利用が必要なかわからない。成年後見制度に対して「なんだか大変」というイメージが強い、必要なかどうか、どんな制度なのか相談する先がない。 ・お金のことや成年後見のことは一回の相談では終わらないので、当事者がゆっくり何度でも相談できる窓口が欲しい。家族から本人に言っても家族間ではうまくいかない、第三者に相談できる窓口が欲しい。
Q8	<p>その他、成年後見制度や権利擁護に関する課題、ご意見等があればお聞かせください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に見聞きしないとわからない実体験を、成年後見制度でも周知して欲しい。やはり実際に使っている方の声が聴ければ良いと思う。 ・障がい者は親亡き後の方が長いので、簡単に後見制度を付けていいのか不安。メリットを感じにくいので、必要なのはわかるがすぐには決められない。人生が長いからこそ、相談をしながら決めていける様になって欲しい。 ・利用促進すれば、受任者のキャパが減ってくるのは間違いないので、受任者の数を増やしていく対応も並行して考えて欲しい(市民後見も良いと思う) ・障がい者年金をもらっている人が多いが、すべて自分の自由に使えるものであって生活費と考えていない方が多いと思う。考え方から教えて欲しい。